

# 医療コースと地域連携を中心に ～『人と命と成田北』～

県立成田北高等学校

## 1 はじめに

本校は昭和55年4月に成田ニュータウンの北端に創立され、今年で44年目を迎える全日制普通科の高校である。平成29年度の県教育委員会からの発表で、令和2年度から普通科に「医療コース」が設置されることが示された。ちょうど新型コロナの影響を受ける中でのスタートで、実施内容を見直しながら高大連携を中心に授業を展開し、令和4年度末に第一期生が卒業した。結果的に学年全体で59名の生徒が看護医療系の大学・短大・専門学校に進学することができた。令和3年度入学者選抜では定員割れの状態であったが徐々に上向きになり、令和5年度入学生の意識調査では、「医療コースに興味があり入学した」という生徒が約60名と大きな特色になりつつある。在校生の学校評価「本校に入学してよかった」も89.6%と年々上昇傾向にある。これまで培ってきた伝統や校風をさらに深化させ、新たな学校づくりを目指し、生徒・保護者の期待に応えられるよう取り組んでいるところである。



## 2 目的

医療コースの設置はされたものの、実際にどのように運用し成果を上げていくかが大きな課題となった。さらに、地域から「成田に成田北高校あり」という存在感を示すにはどのようにしたらよいかを考え、次の3つの視点で取組を進めることとした。

- (1) 医療コースのプログラムを充実させ軌道に乗せること
- (2) 生徒の資質・能力を高め進路希望を叶えること
- (3) 「成田北に入りたい」という第一希望の生徒を増やすこと

## 3 取組

### ア キャッチフレーズの利用

「医療コース」のキャッチフレーズ『人と命と成田北』を学校全体の教育活動に位置付

け、生徒にも意識をさせている。その中で、生徒一人一人のキャリア意識の醸成、様々な体験活動を通しての人的成長、進路実現のサポートを行っている。また、全国的な生徒の自殺者の増加は他人事ではなく、本校でも令和3年度から、失ってはいけないもの『命・信頼・勇氣・学び』を掲げ、校内に掲示して生徒への啓発活動を行っている。



## イ 第1学年キャリア教育「医療講話」

1学年全員を対象に、6月と11月に国際医療福祉大学の教授による講演会を通して、一人一人の社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度を育てる。

(ア) 6月 演題「医療人として必要なもの」

(イ) 11月 演題「医療職のキャリア形成」

必要とされる力を意識し、  
職業について考えよう。

## ウ 「救急救命講習」

第1学年全員を対象に毎年10月に実施している。



## エ 第2学年「医療探究Ⅰ」

水曜日7限目に実施し、高大連携をしている国際医療福祉大学、千葉科学大学をはじめ、千葉県歯科医師会から講師を派遣していただき、講話・実習を行っている。

夏季集中特別講座を含め、幅広い職業を学びながら、チーム医療や医療従事者としての意識を高めていく。

授業ごとに、Microsoft Teams を用いて課題を配信し提出させている。

\*講義内容のまとめ(200字程度)

\*講義で考えたこと、今後生かせること(200字程度)

講義番号	日付	担当	講義内容(職種名で記載)
1	5/11(水)	成田北	オリエンテーション①
2	5/25(水)	成田北	オリエンテーション②
3	6/1(水)	国際医療福祉	看護師①
4	6/8(水)	千葉科学	薬剤師
5	6/22(水)	国際医療福祉	理学療法士①
6	7/13(水)	成田北	夏季集中講座の説明 1学期のまとめ
7	8/17(水)	国際医療福祉	作業療法士①
8			作業療法士②
9			言語聴覚士①
10			言語聴覚士②
11			理学療法士②
12	8/18(木)	国際医療福祉	看護師②
13			医学検査技師①
14			全学部+事務局
15			
16	9/21(水)	国際医療福祉	医学検査技師②
17	9/28(水)	千葉科学	臨床工学技士
18	10/5(水)	国際医療福祉	放射線技師
19	11/2(水)	千葉科学	救急救命士①
20	11/9(水)	千葉科学	救急救命士②
21	11/16(水)	千葉科学	看護師③
22	1/11(水)	歯科医師会	歯科衛生士、歯科技工士
23	1/18(水)	成田北	一年間の振り返り、まとめ

夏季集中特別講座



【静脈路確保】模型でも緊張で手が震える。



【聴診器体験】想像以上に鼓動がよく聞き取れる。

### オ 第3学年・総合的な探究の時間（「医療探究Ⅱ」）

特に医療コースの生徒については、個々に医療に関する**探究活動**を行い、タブレットPCを用いて発表用資料を**PowerPoint**で作成した。3～4人グループを作り、**Microsoft Teams**を用いて画面共有し発表活動を行った。グループを再編成し2回実施した。相互評価を実施し、評価の高かった生徒を成績優秀者とし全体発表を行った。また、3年次も国際医療福祉大学で夏季集中講座を2日間実施した。



他の人の発表も参考にしてさらに改良していきます。



人前で発表するのは、緊張するけどいい経験になりました。

#### 【探究活動のテーマ（一部）】

戦争地域の医療
国際医療とNGO
辛い食べ物の人体への影響
コロナ病棟で働く医療従事者
AIと医療
医療的ケア児と訪問看護

看護師不足と過労問題
歯が及ぼす身体への影響
臨床検査技師と感染症
性同一性障害と医療
放射線治療
脳死臓器移植

## カ 日本グリーフ専門士協会との連携

第3学年の医療系進学希望者に対して、「グリーフケア講話」を実施し、さらに医療人として必要な力を養った。

### 【生徒の感想】

\*この時期に、身内が亡くなったということもあって、聞いていて少しつらい部分もありましたが、自分がケアをする立場

になったときのことを想像し、立ち直ることも、周りを支えることもできました。講話を聴くことができよかったです。

\*人生で一度は聞くべき講話だと思うくらい学ぶことが多かった。

死別、病気、怪我などの喪失感にどう対応するかが注目されているよ！



## 4 生徒の変容（一期生の生徒アンケートより）

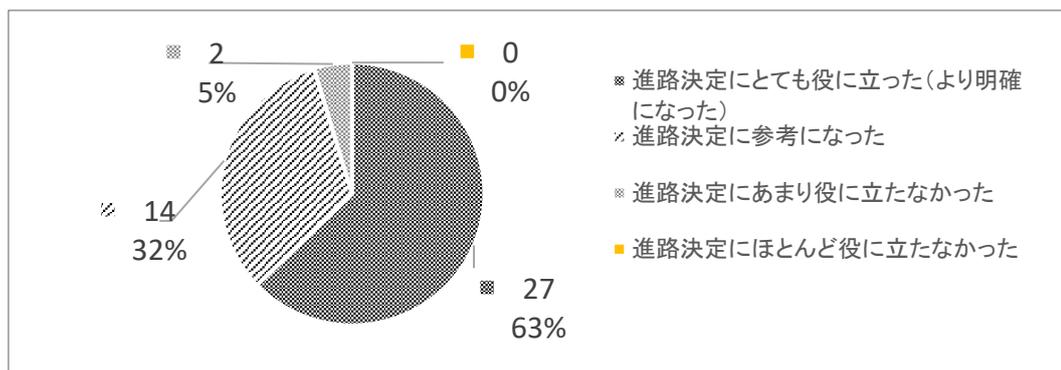
### ア 医療探究 I の受講前後の自己評価は？（ループリック表を活用）

以下の項目について、それぞれ4段階で自己評価を行った。どの項目も受講の前後で向上が見られたが、特に①、②、③、⑥の順で大きく伸びている。

	資質・能力	受講前	受講後	ポイント差
①	医療に関する社会的背景や専門的な知識を得る	1.42	3.06	1.65
②	医療に関する様々な職種とその連携に関して知る	1.67	3.25	1.58
③	講義内容を理解しまとめることができる	2.13	3.33	1.21
④	自らの将来について考えを述べるができる	2.04	3.02	0.98
⑤	主体的・協働的に学習活動に取り組める	2.40	3.29	0.90
⑥	医療従事者としての高い倫理観を身に付ける	1.83	3.04	1.21

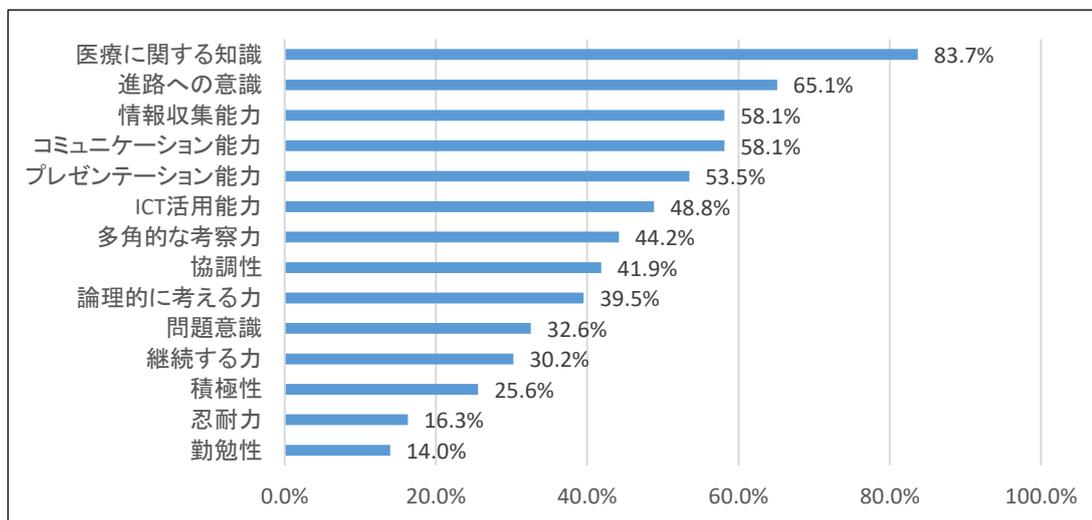
### イ 医療コースでの活動が進路選択に影響したか？

95%が肯定的な感想を持っている。否定的な2名も、それぞれ看護学科、社会福祉学科に進学している。



## ウ 医療探究Ⅰと医療探究Ⅱで身についたと思う力は？

医療探究Ⅰでは、\*医療に関する知識、\*進路への意識、\*文章を書く力、\*要約力、の順であった。医療探究Ⅱでは、下図のとおり、探究活動を行ったことにより2年次とは別の力が身についていることが分かる。



## エ 令和4年度卒業生（一期生）の進学実績

看護医療系の大学・短大・専門学校へは、本校卒業生の約1/5を越える**59名**が進学した。医療コース選択者では、43名のうち34名が、医療コース外からも25名が進学した。医療コースの他の9名は、浪人3名、文学、心理、福祉、人間科学、観光、美容の分野に進学した。圧倒的に看護学科への進学者数が多い。

(R3年度**36名**、R2年度**47名**)

学科	医療コース	コース外	合計
看護学科	18	6	24
臨床検査学科	3	2	5
作業療法学科	3	1	4
理学療法学科	2	1	3
放射線学科	2	3	5
歯科衛生士科	2	4	6
診療情報管理士科	2		2
言語聴覚学科	1	1	2
臨床工学科	1		1
救急救命士コース		3	3
柔道整復学科		1	1
医療薬学科		1	1
動物医療コース		2	2
合計	34	25	59

## オ 代表的な生徒の感想

\*一期生で前例がない不安はあったけれど、医療について沢山学べていい経験になった。また、7限目など負担はあったが、受験や将来につながるものがたくさんあった。

\*最初は、違う医療従事者の話を聞くことが面倒だと感じていたが、講義を受ける中で、「チーム医療」の大切さや、たくさんの職業とつながっていることを知ることができ、最初とは考えが変わり、今はよかったと思っている。

\*医療コースに参加して進路が変わったので、参加できてよかったと思う。専門的な知識を学ぶ機会というのはなかなかないので、医療コースを選んでよかったと思う。自分の進路について調べるだけでなく、全く別の知識も取り入れることで、物事を広い視野で考えることができると思う。また、プレゼンを行うことで、医療従事者に欠かせないコミュニケーション力も身につくので、医療コースを受けてよかった。

\*医療系の職種には進まないものの、別の道を見出すことができてよかったと思いました。

\*昨年は外部講師による講話が中心で、今年は自分で調べたことを発表するというので、医療に対する意識が変わったような気がします。

\*自分の興味があることだったので調べていて楽しかったし、新しい知識を身に付けることができてとても勉強になりました。また、調べたことを他者に正確に伝えることの難しさを痛感し、さらにコミュニケーション能力と言語化能力を高めたいと思いました。

#### **カ 医療コースで改善したほうがいいと思う点は？**

\*医療従事者の仕事を実際に見ることで、医療現場での過酷さを学びたかった。

\*コロナ禍でもあったが、もっと周りの人と感想や意見を交換する時間を多くとったほうがいいと感じた。

\*将来の職を具体的に決めるために医療コースに入ったため、もっと医療現場についての内容のほうが興味を持てると思う。

\*国際医療福祉大学での実習はとても楽しかったし、ためになった。実際に大学に行って学ぶ機会がもう少しあったらいいなあと思った。

### **5 保護者の声**

\*子どもが看護師になるための心構えや勉強ができていたと思う。

\*具体的に仕事内容を理解することができ、目標を決めることができた。

\*本人が希望したこともあり、医療従事者になろうという意志が芽生えた。

\*子どもが医療コースを選択したことはよかったが、もっと医療について学び、体験し、資格も取れたらよいと思う。

\*コロナ禍になってしまい、あまり外部との体験ができなかったのが残念ですが、もっと自由に経験できればよかったと思います。

\*たくさんの専門学校、大学、病院とのつながりを持ってくれることを期待します。

## 6 広報活動

### ア 医療コース報告書の作成・配付

昨年に引き続き、「令和4年度医療コース報告書」を作成し、本校ホームページに掲載するとともに、北総地区を中心に、約65中学校を訪問・配付し、説明を行った。また、一校1キラポスターを3学年廊下に掲示するようお願いした。(P10参照)

#### 【中学校側の感想】

- \*高校の取組は、なかなか中学校に伝わってこない。このような資料があると、生徒面談の資料として活用できます。
- \*報告書をコピーして職員や希望生徒に配布します。



### イ 印旛地区中学校進路指導主事研修会の開催

中学校進路指導研究部から要請があり、6月21日に印旛地区進路指導主事研修会を本校で開催することになった。当日は、約40名の参加者があり、本校の学校説明とともに、医療探究Ⅰの授業（理学療法士）の実施日でもあったため、本校をアピールする絶好の機会となった。授業参観によって、本校の取組をより理解していただけたのではないと思う。



参観者を2グループ交代制にし、別室でもリモート視聴を行った。

#### 【参加者の感想】(アンケート結果を提供いただいた)

- \*回答者全員が、研修会について「参考になった」という結果であった。
- \*医療コースの実態や成田北高校の普段の授業の様子、生徒の雰囲気を直に参観することができた。中学生にも情報を伝えることができます。
- \*生徒が落ち着いていることや、先進的なことを取り入れようとしている様子がうかがえました。
- \*高校の特色あるコースの授業参観等に参加できれば、生徒にも伝えることができる。

## 5 その他の地域連携

### ア 神宮寺小学校との連携

#### (ア) 理科実験教室の開催（3日間）

本校を会場にして、7月の夏休みに低学年  
中学年、高学年と3日間で約100名の希望  
児童に対し理科実験教室を実施した。本校の  
科学部（ボランティア含む）の生徒が講師と  
なって小学生に様々な実験・体験を説明した。



講師役を経験し、子供たちが目を輝かせて楽しそうに取り  
組んでくれてうれしい。理科に興味を持ってもらいたい。

#### (イ) 読み聞かせ活動

コロナ前から実施していたが、本校生徒9  
名が登録し、読み聞かせボランティアの一員  
として参加している。朝8時からの10分間  
定期的に読み聞かせ活動を行っている。



小学生の視線を受けて緊張しますが、熱心に聞いて  
くれて、やりがいを感じます。

#### (ウ) 教職インターンシップ（2日間）【敬愛大学に事前指導を依頼】

教員希望の生徒6名が2日間にわたり小学校で教職インターンシップを実施した。実習  
日誌には、小学校の先生方から生徒の取組への感謝と期待の言葉が多く添えられていた。

多くのことを学びました。様々な児童への対応、授業の大変さ、  
児童の成長、教職のやりがいを感じることができました。

#### (エ) 小学校「大切な命」の講話に、医療コースの生徒6名が参加

小学校からのお誘いにより、看護  
師希望生徒6名が講話に参加した。  
その場を共有できたことの意義は大  
きい。



- \*院内学級で、できることが限られた中でも、一所懸命に取り組む姿が印象に残った。
- \*当たり前の日常がいかに素晴らしいかを身にしみて感じた。
- \*心に元気と笑顔を与えられるような看護師になりたいと思う。

病気の中でも一日一日を強く生きている人もいるのだから、自分の命を簡単に失っては行けないと強く思った。

## イ 成田消防署（本校OB）との連携

### （ア）文化祭「AED広報活動」

成田消防署勤務の本校OBが、医療コース生徒の希望者24名に対し、他者を指導できるレベルにまで事前指導を行ってくださった。文化祭当日は、その生徒が一般の来校者約100名に①心肺蘇生法、②AEDの活用について伝達した。当日もOB4名がボランティアで御協力いただいた。



#### 【消防署員の感想】

教わることと教えることの違いを実感。緊張しながらも、回を重ねるごとに慣れてきました。

\*約10年前から実施していて少人数の生徒のときもあったが、今年は医療コースの生徒とのコラボができて、新たな特色になると感じた。高校生が心肺蘇生法を教えている場面はないので、大切にしていきたい。

\*上級救命や、少し難しいが応急手当普及員などの資格取得にチャレンジもできます。

### （イ）マラソン大会のコース見守り活動

成田消防署勤務の本校OB5名が、AED等を持参し、ボランティアでマラソン大会のコース見守り活動の御協力をいただいた。

## 6 取組への反響

医療コースの一期生が卒業し、進学状況も具体的に見えてきたので、より本校の取組を伝えることができるようになった。やはり、進学先が一番注目される点であり、どの方も興味深く報告書に目を通していただいた。本校に医療コースがあることは、伝わりつつあると感じており、令和4年度入試で本校への第一希望者数が増えたことが中学校でも話題になったと聞いている。本校の取組を理解し、看護医療系に興味・関心のある生徒に伝えていただけたのではないと思う。今年の夏の学校説明会には、昨年より約200名以上多い中学生の参加があり、さらに第一希望生徒が増えることを期待している。

## 7 今後の方向性

一期生が入学して、コロナ禍も重なり手探り状態での取組であったが、無事に卒業生を出すことができた。それぞれが進路実現に向けて取り組んだ結果、学校全体として例年よりも多くの生徒が看護医療系の分野に進学することができた。また、当初計画していた病院実習は実施

できていないが、生徒・保護者の感想にもあるように、状況を見ながら取り組んでいく予定である。医療コースの生徒ばかりでなく、学校全体の教育活動のカリキュラム・マネジメントを行い、生徒のキャリア意識の醸成に向けて、関係機関との連携を深めながら充実させていく予定である。また、生徒の体験活動、ボランティア活動を推奨し、地域の方々との交流をさらに図っていききたい。

【一校1キラポスター】

【学校説明会用ポスター】

【第二期生】



夏季集中講座は、非常に刺激を受けました。